

令和 5 年度 公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館事業報告書

当年度の成果と展望 実施事業（総事業費 173,550 千円）

コロナ禍からの回復と利用の動向

当年度は、令和 2 年度から 3 年間にわたって続けてきたイベントの参加人数の上限（100 名）をなくすなど、ようやく通常の運営に戻すことのできた一年となりました。年間の利用者数は 93,264 人（前年度 76,585 人 21.8%増）となり、目標だったコロナ禍前 120,000 人の 8 割 5 分 102,000 人には届かなかったものの、以前の 7 割強まで回復してきました。他方、収益面では、入館料収益が団体旅行の受入増などにより 13,609 千円（同 11,414 千円 19.2%増）、文化事業収益全体でもおもちゃ工房の利用増などにより 19,394 千円（同 15,741 千円 22.9%増）となるなど、当初見込みを上回り順調に回復しつつあります。また、コロナ禍中は伸び悩んでいた年間パスポートの会員数も増加し、令和 6 年 3 月末時点で、前年同月の約 1.5 倍となる 448 人となっています。

施設管理上の経済的負担と災害対応

円安等の影響による利用料金の値上げにより前年度は大きく膨らんだ光熱費でしたが、電気ガス共に当年度はやや落ち着き、前年度から約 4,500 千円減となる 18,445 千円（前年度 23,002 千円△19.8%減）となりました。施設管理面での特記事項としては、令和 5 年 7 月早朝の記録的短時間大雨により地下駐車場が膝上まで冠水し、駐車していたリース車両の館用車が廃車となる被害が発生しました。幸い開館時間前だったため、利用者の車両等への被害はありませんでしたが、天候次第では短時間での同種の被害の発生も予想されることから、今後の懸念材料ではあります。本件に関する災害損失として 747 千円を計上しています。一方、車両共済に加入していたことから、廃車に伴う共済金として 1,155 千円を受け取り、事業外収益としています。

文化事業と新たな取り組み

令和 5 年 4 月からは、収蔵品データベースのオンライン公開を開始しました。わらべ館公式サイト上で童謡館とおもちゃ館の収蔵資料の検索が可能となっています。県外の

教育機関や研究者から、岡野貞一や永井幸次など郷土の音楽家のみならず、童謡唱歌全般に関するレファレンスや資料複写依頼が入るなど活用が広がっています。

イベントでは、8月に「おかあさんといっしょ」の先代うたのおねえさんである小野あつこさん等によるコンサートを鳥取市民会館で開催しました。県内外から760名が来場し、大きな反響がありました。このほか基金事業として、童謡館事業の「田村虎蔵生誕150周年記念事業」と、童謡館とおもちゃ館の共同事業「自称世界最高齢アニメーション制作集団G9+1展 ～みる・きく・つくる～」の2事業を実施しました。

1. 童謡唱歌に関する事業（公益目的事業1 事業費82,434千円）

童謡・唱歌の普及啓発を図るため、次の3つを柱とした事業を行いました。

- (1) 童謡唱歌体験事業
- (2) 調査研究、資料収集事業
- (3) 展示事業

県の「童謡・唱歌のふるさと鳥取」企画実行委員会と共催して、童謡館基金事業「田村虎蔵生誕150周年記念事業」を実施しました。令和5年10月から1ヶ月にわたって開催した特別展では、田村虎蔵の生涯を「旅」をテーマに紹介し、作曲作品だけでなく欧米視察の様子を多数の写真とともに紹介しました。春と秋には記念コンサートを開催し、記念楽譜集を発行したほか、メモ帳などのオリジナルグッズを作成しました。

2. おもちゃに関する事業（公益目的事業2 事業費82,205千円）

おもちゃ文化の普及啓発を図るため、次の3つを柱とした事業を行いました。

- (1) おもちゃ文化体験事業
- (2) 調査研究、資料収集事業
- (3) 展示事業

鳥取市と共催して、同市と姉妹都市提携を結ぶドイツカッセル市のグリム兄弟博物館元館長でありグリム兄弟協会理事のG・ラウアー氏の企画設営によるドイツのおもちゃ展「メルヘンの世界のおもちゃとゲーム」を約2週間にわたり開催しました。同時通訳による同氏のトークイベント「現代におけるメルヘンの受容」では、メルヘンが現代においても世界中で愛され、一部は時代とともに変化しながらもそれぞれの国の文化として根付いていることが示され、大変興味深い内容でした。

共同基金事業G9+1展は、ラーメン大好き小池さんのモデルとしても知られる鈴木伸一氏が、約30年前にわらべ館のマスコットキャラクター夢兎のデザインを手掛けていた縁で実現しました。アニメ界のレジェンド達によるトークショーとワークショップを開催したほか、9日間にわたりいべんとほーるでG9+1の映像作品を上映しました。

3. 法人管理事業（管理事業 事業費 8,910 千円）

定時評議員会のほか、理事会を 3 回開催しました。事業計画書や財務諸表等を WEB サイト上で公開し、公益法人として透明性のある法人運営に努めました。令和 5 年 10 月には業務効率化のため館の組織再編を実施し、事業推進室と総務係の 1 室 1 係制から、総務係・イベント係・童謡係・おもちゃ係からなる 4 係制へ移行しました。

当年度末をもって、平成 31 年度からの鳥取県立童謡館と鳥取市立鳥取世界おもちゃ館の 5 年間の指定管理期間が満了を迎えることから、県市それぞれの次期指定管理者の選定審査会に出席し、県市それぞれから次期指定管理者として選定されました。新たな指定管理期間は令和 6 年度からの 5 年間、令和 10 年度末までとなります。